

## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月16日

上場会社名 Chordia Therapeutics株式会社 上場取引所 東  
コード番号 190A URL https://www.chorditherapeutics.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 三宅 洋  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 久米 健太郎 TEL 03 (6661) 9543  
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第3四半期の業績 (2023年9月1日～2024年5月31日)

## (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	-	-	△1,180	-	△1,175	-	△1,177	-
2023年8月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	△20.86	-
2023年8月期第3四半期	-	-

(注) 1. 2023年8月期第3四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第3四半期の記載及び2024年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2024年8月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2024年8月期第3四半期では非上場であったことから期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年8月期第3四半期	3,462	-	3,323	-	95.2
2023年8月期	4,909	-	4,500	-	91.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 3,297百万円 2023年8月期 4,474百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	△2,273	-	△2,278	-	△2,280	-	△40.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	56,443,800株	2023年8月期	56,443,800株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	—株	2023年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	56,443,800株	2023年8月期3Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、これまでにない新しい抗がん薬を、一日でも早く患者様のもとに届けることで、『Tomorrow is Another day～明日に希望を感じる社会～』を実現することを目指しています。

当社はアンメットメディカルニーズの高いがん領域に特化した創薬研究を進めており、これまでにない新しい作用機序を有する低分子の画期的医薬品（ファーストインクラス）の研究開発を行っています。ファーストインクラスの医薬品は、既存治療薬と異なる有用性を示すことが期待され、これまでの治療法を大きく変えることができる医薬品に成長する可能性があります。特に既存治療薬では十分な効果が認められず、現在のがんの進行に不安を感じている多くの患者様に対して、がんの進行をコントロールできるという希望を届けることを目標に事業の推進を行って参りました。

当第3四半期累計期間においては、CLK阻害薬CTX-712を中心としたパイプラインの研究開発は順調に進捗しております。

CLK阻害薬CTX-712については、新型コロナウイルス感染症への対応が継続している中においても、治験実施医療機関の協力のもとで患者登録を継続したことで、日本における第1相臨床試験の症例登録（固形がん46例、血液がん14例、合計60例）を完了させることが出来ました。日本における第1相臨床試験の結果として、2024年4月に開催された米国がん学会において2023年11月時点までの第1相臨床試験の安全性、有効性、ゲノム情報、薬物動態に関して、46例の固形がん、及び14例の血液がんの結果を報告しました。観察されたDLT（Dose-Limiting Toxicity：用量制限毒性）は、脱水、血小板数減少、低カリウム血症、及び肺炎であり、週2回の投与におけるMTD（Maximum Tolerated Dose：最大耐用量）は140mgと決定されました。CTX-712に関連する有害事象として吐き気、嘔吐、下痢等が挙げられましたが、許容される安全性プロファイルと考えられました。有効性に関しては、固形がんにおいて4例のPR（partial response：部分奏効）を認め、それらはすべて卵巣がん（4/14例、28.6%）でした。Myc amplificationを有する卵巣がんに着目すると、3例中2例（66.7%）でPRが得られました。AML、MDS計14例において、4例のCR（complete remission：完全寛解）、1例のCRi（complete remission with incomplete hematologic recovery：好中球未回復の完全寛解）、1例のMLFS（morphologic leukemia-free state：形態学的無白血球状態）を認め、Overall Response Rateは42.9%でした。また、そのうちSplicing Factor mutationのある4例に着目すると3例（75%）の奏効が認められました。奏効を得た症例のうち3例は投与期間が300日以上と長期間の奏効を認め、そのうち1例は974日でありました。さらにPK（pharmacokinetics：薬物動態）解析では、用量依存的な全身曝露量の増加が観察され、PD（pharmacodynamics：薬力学的）マーカーとして設定したRNAのスプライシング変化が用量依存的に増加したことから、CTX-712による薬力学的反応が確認されました。以上より、卵巣がん、血液がんにおいてCTX-712が有効であることを示すことができました。

また、米国における血液がんでの第1/2相臨床試験についても順調に推移しており、2024年5月末時点においては16例への投与を実施しており、更なる試験の進捗に向けた活動を行っているところです。

MALT1阻害薬CTX-177については、2020年12月に小野薬品工業株式会社と締結したライセンス契約に基づき、小野薬品工業株式会社が米国において再発または難治性の非ホジキンリンパ腫もしくは慢性リンパ性白血病の患者を対象に第1相臨床試験を実施頂いています。また対外発表としては、2024年6月での米国臨床腫瘍学会においては、第1相臨床試験の概要を小野薬品工業株式会社から発表されました。

現在非臨床段階にあるCDK12阻害薬CTX-439については、臨床試験開始に向けての安全性試験や治験原薬の製造を終え、現在次のフェーズの準備を進めているところです。

特許については、CTX-712の物質特許では、1カ国で追加登録されて、現在50カ国で登録済み、MALT1の物質特許では、3カ国で追加登録されて、現在9カ国で登録済み、CTX-439の物質特許では、1カ国で追加登録されて、現在4カ国で登録済み、GCN2の物質特許では、現在6カ国で登録済みとなっています。また、CTX-712に関しては、固形がんにおけるバイオマーカー特許（W02023/190967）が公開されたことに加え、2024年1月に新たな特許出願を行っています。

以上の結果、当第3四半期累計期間の事業収益は該当ありませんでした。事業費用につきましては、研究開発費が984百万円、その他の販売費及び一般管理費が196百万円となりました。

この結果、営業損失は1,180百万円、経常損失は1,175百万円、四半期純損失は1,177百万円となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,462百万円となり、前事業年度末と比較して1,447百万円減少しました。このうち、流動資産の残高は3,432百万円となり、前事業年度末と比較して1,459百万円減少しました。これは主として、研究開発業務の委託先に対する支払により、現金及び預金が1,541百万円減少したことによるものであります。また、固定資産の残高は29百万円となり、前事業年度末と比較して12百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は138百万円となり、前事業年度末と比較して269百万円減少しました。このうち、流動負債の残高は138百万円となり、前事業年度末と比較して269百万円減少しました。これは主として、研究開発業務の委託先に対する支払により、未払金が167百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は該当ありません。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,323百万円となり、前事業年度末と比較して1,177百万円減少しました。これは、四半期純損失の計上により利益剰余金が1,177百万円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2024年6月14日の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,799,035	3,257,183
前渡金	40,518	18,820
前払費用	52,058	44,544
その他	—	111,596
流動資産合計	4,891,612	3,432,144
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	10,675	10,853
減価償却累計額	△6,249	△7,911
工具、器具及び備品 (純額)	4,425	2,941
有形固定資産合計	4,425	2,941
無形固定資産		
ソフトウェア	2,497	1,053
無形固定資産合計	2,497	1,053
投資その他の資産		
長期前払費用	8,691	13,582
その他	1,894	12,316
投資その他の資産合計	10,586	25,898
固定資産合計	17,510	29,894
資産合計	4,909,123	3,462,039
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	248,433	81,339
未払費用	9,882	25,213
賞与引当金	15,720	—
未払法人税等	2,420	1,815
その他	131,784	30,269
流動負債合計	408,241	138,636
負債合計	408,241	138,636
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	8,279,601	8,279,601
利益剰余金	△3,894,652	△5,072,132
株主資本合計	4,474,948	3,297,468
新株予約権	25,933	25,933
純資産合計	4,500,881	3,323,402
負債純資産合計	4,909,123	3,462,039

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
事業収益	—
事業費用	
研究開発費	984,457
販売費及び一般管理費	196,366
事業費用合計	1,180,823
営業損失(△)	△1,180,823
営業外収益	
助成金収入	17,727
その他	102
営業外収益合計	17,829
営業外費用	
上場関連費用	6,110
為替差損	6,560
営業外費用合計	12,671
経常損失(△)	△1,175,664
税引前四半期純損失(△)	△1,175,664
法人税、住民税及び事業税	1,815
法人税等合計	1,815
四半期純損失(△)	△1,177,479

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

当社の事業セグメントは、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しています。



## (重要な後発事象)

## (公募による新株式の発行)

当社は、2024年6月14日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年5月10日及び2024年5月28日開催の取締役会決議に基づき、下記の通り公募による新株式の発行を実施し、2024年6月13日に払込が完了いたしました。

## (1) 募集方法

国内及び欧州、アジアを中心とする海外市場における募集

## (2) 募集株式の種類及び数

普通株式 9,100,000株  
国内 8,087,600株  
海外 1,012,400株

## (3) 発行価格

1株につき 153円

## (4) 引受価額

国内：1株につき140.76円  
海外：1株につき140.76円

## (5) 資本組入額

国内：1株につき70.38円  
海外：1株につき70.38円

## (6) 増加する資本金の額

640,458千円

## (7) 増加する資本準備金の額

640,458千円

## (8) 引受価額の総額

1,280,916千円

## (9) 払込期日

2024年6月13日

## (10) 資金使途

運転資金